



国立療養所東名古屋病院付属リハビリテーション学院

概 略

〔所在地〕 〒468 愛知県名古屋市名東区天白町大字植田字梅森坂 21-8

〔電 話〕 052-803-7751

〔交 通〕 国鉄名古屋駅より地下鉄にて星ヶ丘駅下車市バス梅森東名古屋病院行きを利用し、梅森東名古屋病院にて下車。

〔学 科〕 理学療法学科，作業療法学科。

〔募集人員〕 各学科 20 名

〔修業年限〕 3 年（昼間）

〔倍 率〕 理学療法学科（10.7），作業療法学科（5.7）（55年度入試）

〔教育内容〕

一般基礎科目：心理学，文学，教育学，人間発達，社会学，物理学，生物学，統計学，英語，保健体育。

基礎医学科目：解剖学，生理学，病理学，運動学，生化学，薬理学，公衆衛生学。

臨床医学科目：臨床心理学，一般臨床医学，整形外科，臨床神経学，精神医学，小児科学，救急消毒法，障害概論。

理学療法科目：理学療法概論，運動療法概論，物理療法概論，義肢装具概論，筋骨疾患の理学療法，神経筋疾患の理学療法，一般臨床医学の理学療法，管理及び倫理，医療福祉，臨床実習。

作業療法科目：作業療法概論，身体障害に対する作業療法，精神障害に対する作業療法，日常生活動作，職業前評価と訓練，作業療法技法，職業倫理職場管理，レクリエーション，義肢装具，医療福祉，臨床実習。

本学院は理学療法士，作業療法士養成に関しては不毛の地であった中部圏に，関係者の長い間の準備と努力の結果，昭和 54 年 4 月に開校した。現在の教官数は，理学療法学科 3 名（内 1 名留学中），作業療法学科 2 名（内 1 名留学中）である。学生の出身地は概ね東海 3 県であり，卒業後は各地でパイオニア的存在として活躍してくれるものと期待している。

親病院は結核療養所として長い結核医療の歴史と共に歩んできたが，近年の疾病構造の変化に伴い，現在は，1. 循環器系疾患，2. 呼吸器系疾患，3. 神経筋疾患，4. リ

ハビリテーションを医療の中心においており，また神経筋難病と重症心身障害児の病棟をもっている。また付属施設として看護学院およびリハビリテーション学院を併設しているので，両学院の実習の場として十分に活用されている。54 年に診療部門の 1 つとして，リハビリテーション棟が新設され，学生の見学実習が 1 年時より毎週一定時間行われており，PT，OT 教育にとっては大変恵まれた環境にあるといえる。とかく孤立しがちなリハ学院であるが，幸いなことに親病院を中心に，3 施設の職員の交流は密であり，病院側の態勢も実習病院として着着と充実しつつある。学生も病院職員や患者さんに触れる機会が多いので，医療人としての常識や自覚が自然に身についていくようである。

教育目標

理学療法学科および作業療法学科の共通の教育理念は次の 2 点である。

1. 医療の一環を荷う専門職に従事する者としての幅広い人間形成をめざした教育。“人間”を理解することの大切さや医の倫理に基づいたきびしさを教え，医療人としての適性をみきわめる。

2. それぞれの専門科目は基礎学問（解剖学，生理学，病理学，心理学）に基づいた概論に重点をおく。これは 3 年間という限られた修業年限を有効にいかすためであり，将来臨床の場でつきあたるであろうさまざまな症例や問題に対して，どのように考え，処理し，解決して行くべきかを判断できるような基本的な，応用の可能な能力を身につけるためである。なお OT 教育においては，activity 習得に多くの時間をさき，人間と activity とのかかわりを重視している。

要は教育にとって大切なことは，学生のもっている素質（能力）を最大限に引き出せるような環境づくりではないかと考えている。

（理学療法学科 辻井洋一郎）

（作業療法学科 柴田 澄江）